



TITLE:

当所の活動

AUTHOR(S):

CITATION:

当所の活動. 木材研究資料 1977, 11: 92-94

ISSUE DATE:

1977-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/51250>

RIGHT:

当 所 の 活 動

(1976年2月～1977年1月)

講 演

第26回 日本木材学会大会

(昭和51年4月4日～6日, 静岡)

榎 章郎, 勝山 猛, 越島哲夫: メタセコイヤの抽出成分 (2)

前川英一, 越島哲夫: アルドビオウロン酸を主体とする酸性糖のガスクロマトグラフィー (GLC) による分析について

(木材化学部門)

金田 弘, 中山広道, 満久崇磨: 木質材料の耐候性に関する研究—外力下における合板の接着耐久性について (II)

高谷政広, 佐々木 光, 満久崇磨: エポキシ樹脂による木材接着系の耐久性—引張外力下での破壊について

作野友康, 佐々木 光, 満久崇磨: 木材—エポキシ系接着層の衝撃せん断試験について

南 正院, 満久崇磨: アスプルンドパルプ—MMAグラフト重合物の熱的性質

佐々木 光, 満久崇磨: カラマツ単板の品質とLVLの強度

増田 稔, 満久崇磨: 合板の座屈の挙動の解析(IV)—スパン/厚さ比の破壊値に与える影響

石原茂久, 満久崇磨: リン酸とメチロールジシアンジアミドによるセルロースおよび木材の防火処理

(木質材料部門)

藤本英人, 樋口隆昌: リリオデンドリンの生合成に関する研究 (2)

棚橋光彦, 武内英夫, 樋口隆昌: シナピルアルコールの脱水素重合反応について

山崎 徹, 幡 克美, 樋口隆昌: シナピルアルコールの酵素的脱水素重合物について

田中憲次, 中坪文明, 樋口隆昌: グワヤシルグリセロール- β -グワヤシルエーテルのキノンメチドとウロン酸の反応

中村吉紀, 樋口隆昌: 竹リグニンのエステル構造

(リグニン化学部門)

角谷和男, 山田 正: スギ稚苗の屈性について

大釜敏正, 山田 正: 木材の高次構造と粘弾性 (6)

青木 務, 山田 正: 木材のケモレオロジー(V)—間ケツ法

則元 京, 山田 正: 木材の構造と誘電特性 IV
リグニンの誘電特性の含水率依存性と吸着水の分子分極

則元 京, 林 昭三, 山田 正: 木材の構造と誘電特性 V 木材の誘電率の含水率依存性

野村隆哉, 山田 正: 竹の形成過程における構造と物性 (II)

木方洋二, 奥山 剛, 角谷和男, 野村隆哉, 堤 寿一, 北原竜士, 岡野 健, 大迫靖雄, 伊藤 匠, 加藤猛雄: 樹幹内生長応力の除去に関する研究—南洋材の切りわれ防止

(木材物理部門)

久保隆文 (農工大農), 島地 謙: アカマツ稚苗の年輪形成に及ぼす I. A. A. 処理および土壤水分制御の影響

西本孝一, 角田邦夫: 海虫食害防止対策についての試行

(木材生物部門)

第31回 木研公開講演会

(昭和51年5月21日, 大阪)

石原茂久: ホウ酸をベースとした木材および木質材料の防火処理

(木質材料部門)

西本孝一: 合板の防霉・防虫処理の考え方

(木材生物部門)

越島哲夫: 金属を選択的にとりこむセルロース系ポリマー

(木材化学部門)

第21回 リグニン化学討論会

(昭和51年10月18～19日, 東京)

中村吉紀, 樋口隆昌: 竹リグニンのエステル構造, Coniferyl *p*-coumarate の脱水素重合

久津木英俊, 塩 徹, 樋口隆昌: ネズコ材のリグ

ニンおよびリグナン
藤本英人, 樋口隆昌: ユリノキ中のレジノール型リ
グナン類
山崎 徹, 幡 克美, 樋口隆昌: シリングル核リッ
チリグニンの単離

第17回 日本植物生理学会

(昭和51年4月5日~7日, 福岡)
島田幹夫, E. E. Conn: ソルガムのシアン配糖体生
合成におけるニトリル中間体の証明
島田幹夫, C. T. Horan, E. E. Conn: ソルガムミ
クロソームの *p*-ヒドロキシフェニル α -水酸化
酵素の性質
(リグニン化学部門)

昭和51年度日本農芸化学会大会

(昭和51年4月1日~4日, 京都)
島田 幹夫, C. T. Horan, E. E. Conn, K. R.
Hanson.: ソルガムミクロソームの *p*-ヒドロキ
シフェニルアセトニトリル α -水酸化酵素の立
体特異性
(リグニン化学部門)

防菌防黴学会

(昭和51年3月9日, 大阪)
西本孝一: 木造建築における虫害とその防除
(木材生物部門)

日本菌学会関西談話会講演会

(昭和51年3月23日, 京都)
高橋旨象: 木材腐朽の生物学
(木材生物部門)

材料学会総会講演会

(昭和51年5月20日, 京都)
越島哲夫: リグニン利用のための化学転換
(木材化学部門)

大阪京大クラブ

(昭和51年5月20日, 大阪)
西本孝一: しろありの生理生態について
(木材生物部門)

第8回 国際炭水化物化学シンポジウム

(昭和51年8月16日~20日, 京都)
前川英一: たけのこの水溶性多糖からのアラビノガ
ラクタン
(木材化学部門)

越島哲夫, 夜久富美子, 田中龍太郎: リグニン炭水

化物複合体の炭水化物部分

(木材化学部門)

日本木材保存協会

(昭和51年7月29日, 東京)
西本孝一: ラワンの防虫について
(木材生物部門)

日本しろあり対策協会ゼミナール

(昭和51年9月17日, 東京)
西本孝一: しろあり防除処理方法について
(木材生物部門)

第41回 日本植物学会大会

(昭和51年10月5日~8日, 富山)
伊東隆夫: 伸長生長過程におけるポプラ皮層柔細胞
のミクロフィブリルと微小管の配列方向
(木材生物部門)

第24回 レオロジー討論会

(昭和51年10月29日, 前橋)
大釜敏正, 山田 正: 木材の複合構造と緩和弾性率
(木材物理部門)

住居気候談話会

(昭和51年10月11日, 京都)
則元 京, 山田 正: 木質材料の湿度調節機能
(木材物理部門)

日本木材学会生物劣化研究会シンポジウム

(昭和51年10月29日, 宇治)
角田邦夫: 日本産フナクイムシ
(木材生物部門)

日本しろあり対策協会関西支部

(昭和51年12月3日, 大阪)
西本孝一: しろあり防除薬剤について
(木材生物部門)

特別講義

近藤民雄(九州大学教授): パルプ工業における最
近の問題 (昭和51年11月12日)
小原二郎(千葉大学教授): 内装システムの最近の
動向 (昭和51年11月15日)

人事往来・その他

前川英一: 昭和51年4月1日付で助教授に昇任
(木材化学部門)
田中文男: 昭和51年5月1日付で助手に新任

(木材化学部門)

樋口隆昌：第5回国際木材科学アカデミー大会出席
およびリグニン生化学に関する研究調査のため
デンマーク，ノルウェー，フランスに出張
(昭和51年6月15日～昭和51年7月14日)

(リグニン化学部門)

角谷和男：第16回 IUFRO 世界会議に出席および
木材物理学に関する研究調査のため，ノールウ

ェー，ドイツ連邦共和国へ研修旅行(昭和51年
6月19日～昭和51年7月5日)

(木材物理部門)

Dr. H. Chang, Dr. D. Abson (ノースキャロライ
ナ大学)，昭和51年10月25日来所

Dr. F.N. Tamolong, Mr. A.A. Pablo (フィリッ
ピン国立科学技術庁林産物研究所)，他2名，
昭和51年10月25日来所